



vAzio


VACUUM TUBE INTEGRATED AMPLIFIER SYSTEM

取扱説明書

T-3-BR
T-3-WH



使い方・修理などのお客様ご相談窓口

 0120-232-765 (無料)

IP 電話などフリーダイヤルをご利用いただけない場合

TEL 03-5850-6817 (有料)

FAX 03-5850-6810 (有料)

CAVジャパン株式会社

〒116-0014

東京都東日暮里5-48-5光陽社ビル8階

受付時間 10:00-17:00 (土日・祝日を除く)

- ・ご使用前に、安全上のご注意をよくお読みの上、正しく本商品をお使いください。
- ・本書は、お読みになった後も大切に保管して下さい。

登録商標・商標の表記について

※CAVIは、日本で登録されたCAVジャパン株式会社および中国とその他の国で登録されたCAV AUDIO CHINA INC. の登録商標です。

※VAZIOは、日本で登録されたCAVジャパン株式会社、の登録商標です。

※iPodは、米国およびその他の国で登録された米国Apple, Inc. の登録商標です。

※その他の商標は、一般に会社名、サービス名、ソフト名および製品名は各社の商標または登録商標です。

CAV

Ver1.0(T4-1101)

目次

安全上のご注意	1-3
本商品の特徴	4
標準付属品	5
各部名称の説明（フロントパネル/リアパネル）	6
スピーカーの接続/電源ケーブルの接続	7
iPodの接続と操作方法	8
他の外部オーディオ機器との接続と操作方法	9
iPodリモコンの準備	10
iPodリモコンの操作	11
トラブルシューティング	12
スペック	13

スペック

※ 本商品の仕様および外観は改良のため予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。

アンプ	定格出力	$\geq 10\text{W}$
	再生周波数帯域	15~35000Hz
	入力インピーダンス	100K Ω
	インピーダンス	6 Ω
	入力感度	770mV
	S/N比	$\geq 84\text{dB(IHF)}$
	歪み率	$\leq 2\%$ (THD)
	電源	AC100V(50/60Hz)
	消費電力	$\leq 105\text{W}$
	外形寸法(約)	W213×D286×H166(mm)
	質量(約)	10.5Kg
	使用真空管	6V6×4 12AX7×2 12AU7×1
	スピーカー	ドライブユニット
インピーダンス		6 Ω
再生周波数帯域		60~30000Hz
最大入力		20W
出力音圧レベル		85dB
外形寸法		W158×D305×H259(mm)
質量(約)		8.9Kg(Pair)

トラブルシューティング

操作をして問題が発生した場合は、その症状と原因を把握するために下記の表をご参照ください。もし原因が分からない、症状が改善されない場合は電源をオフにして電源コードをコンセントから抜いた後、正規販売店もしくはCAVジャパンお客様相談窓口(TEL:0120-232-765)にお問い合わせください。

症状	原因	解決方法
電源が入らない	電源プラグが抜けている	しっかり接続します。
	電源が「ON」になっていない	本体フロントパネルの主電源スイッチを「ON」にします。
	エラー	電源を「OFF」にし、一度電源プラグをコンセントから抜き、しばらくしてから再度コンセントを繋ぎ、電源を入れてください。
音がでない	1)スピーカーケーブルが断線	スピーカーケーブルを交換します。
	2) VOLUMEツマミが最小位置	適切な音量になるまで音量を上げてください。
	3) 外部オーディオ入力ケーブルが断線、またはしっかり接続されてない	接続方法の説明内容を読み、正しく接続します(P.9参照)。
	4) iPodの接続が不十分	iPodをしっかり接続します。iPodステータスランプがグリーンになっているか確認します。
	5) 入力モードを合わせてない	本体フロントパネルのSELECTOR入力切替えツマミで接続された入力モードに切替えてください。
リモコンが作動しない	1) 電池の極性	電池の極性(+)が正しいか確認します(P.10参照)。
	2) 電池の消耗	電池を交換します(種類:ボタン電池CR2025)。
	3) 操作角度	適切な距離や向き・角度の範囲内で操作します。リモコンと本体の間に障害物がないか確認します。
片方のスピーカーから音が出ない	1) 外部オーディオ入力ケーブルが断線、またはしっかり接続されてない	接続方法の説明内容を読み、正しく接続します(P.9参照)。
	2) スピーカーケーブルが断線、またはしっかり接続されてない	スピーカーケーブルの交換やスピーカーの接続説明内容を読み、正しく接続します(P.7参照)。
対応する音源選択ができない	外部オーディオ入力ケーブルが接続されてない	接続方法の説明内容を読み、正しく接続します(P.9参照)。
音声途切れる	1) 真空管の挿しこみ、接続状態がよくない	機器を「OFF」にした後、丁寧に挿しこみをやり直します。
	2) 外部オーディオ入力ケーブルが断線、またはしっかり接続されてない	外部オーディオ機器との接続と操作方法説明内容を読み、正しく接続します(P.9参照)。
	3) スピーカーケーブルが断線、またはしっかり接続されてない	スピーカー接続説明内容を読み、正しく接続します(P.7参照)。
個別真空管が光らない	真空管の交換が必要	正規販売店もしくはCAVジャパンお客様相談窓口(TEL: 0120-232-765)にお問い合わせください。

安全上のご注意

この度は、本商品をご購入いただきまして誠にありがとうございます。ご使用前に「安全上のご注意」を必ず読み、本商品を正しくご使用ください。



記号は、「気をつけなければいけない」ことを表しています。



記号は、「してはいけない」ことを表しています。



CAUTION

RISK OF ELECTRIC SHOCK, DO NOT OPEN



WARNING: SHOCK HAZARD-DO NOT OPEN

火災・感電・けがの原因になります。修理技術者以外の方は分解したり修理しないでください。



警告

1. 水平で安定した場所に設置する

本製品の周辺に、上部50cm、左右20cm、背面10cmの空間が確保されている、水平で安定したラック、またはテーブルの上に置いてください。特に上記の空間は、真空管の発熱を妨げないよう、十分な空間を確保してください。

2. 抜き差しの容易なコンセントにつなぐ

電源プラグは、迅速に抜き差しできるように、手の届きやすいコンセントをご使用ください。コンセント前面に大きな物を置くと、迅速な操作ができなくなります。また、電源ケーブルの長さにゆとりのある場所のコンセントをご使用ください。

3. 製品を移動する時は、接続ケーブル類をすべてはずす

製品を移動する時には、バランスをとりながら搬送してください。また、ケーブル類は全て外してください。ケーブルの破損が原因で、本体が使用できなくなることがありますのでご注意ください。

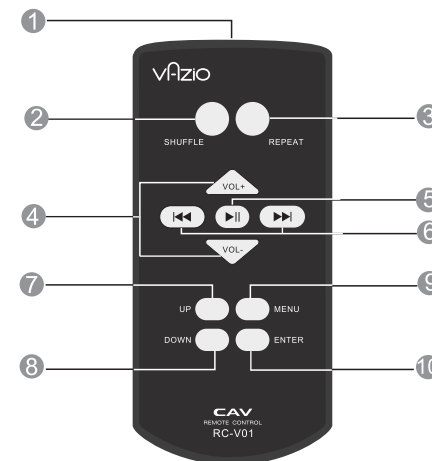
安全上のご注意

4. プラグ類、接続コード類はしっかりと接続する
電源プラグの差し込みが不完全ですと、火災や感電の原因となります。また、正常動作の妨げとなります。プラグをコンセントの根元まで確実に差し込んでください。
5. 電源コードを引っ張らない
傷つけたり、破損したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、加工したりしないでください。コードが破損すると、感電・火災の原因となります。
6. 雷が鳴り始めたら、主電源スイッチを切る
安全を確認した上で電源プラグを抜いてください。
7. 長時間使わないときは、電源プラグを抜く
長時間使わない時、お手入れの時は、本体の電源スイッチを切り、電源プラグを抜いてください。

禁止

1. 交流100V以外で使用しない
電圧や定格が異なると、火災や機器の破損、人が障害を負う原因となります。定められた電圧でお使いください。
2. 異常が発生したら使用しない
煙やにおい、異音などが発生した場合、また、水や異物が入った場合は、主電源スイッチを切り、電源プラグを抜いて、販売店またはCAVジャパンお客様相談窓口にて修理を依頼(TEL 0120-232-765)してください。お客様ご自身による修理は絶対におやめください。
3. 環境の悪いところに設置しない
高温になるところ(直射日光の当たるところや火気のそばなど)、湿気の多いところ、極端に寒いところやほこりの多いところへの設置はしないでください。
4. 風呂や台所では使わない
浴室や風雨にさらされる場所など、水気や水滴のある場所では使用しないでください。寒暖の差が急激な場所においても、本体の内部に水滴がつくことがあります。感電や漏電による火災の原因となります。
5. 本体に水が入るような使い方はしない
花瓶など水の入った容器を置かないでください。また、濡れた手でのご操作もやめてください。感電や漏電による火災の原因となります。

iPodリモコンの操作



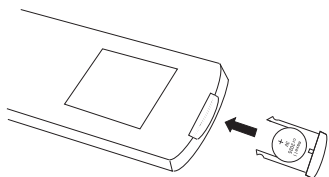
- 1 赤外線送信部
アンプ部へ信号を送信します。この部分を遮ったり覆ったりしないようにご注意ください。
- 2 SHUFFLEボタン
iPodの曲をシャッフル再生する時に押してください。
- 3 REPEATボタン
同じ曲を繰り返し再生したい時に押してください。
- 4 VOL+、VOL-
音量を調整する時に押してください。
- 5 ▶|| ボタン
iPodの再生と一時停止をしたい時に押してください。
- 6 ◀▶ ボタン
前曲と次曲の選択時に押してください。
- 7 UPボタン
iPodのメニュー内で、ファイル(アルバムや楽曲など)を選択する時に押してください。メニューの上位フォルダに移動する時に使用します。
- 8 DOWNボタン
iPodのメニュー内で、ファイル(アルバムや楽曲など)を選択する時に押してください。メニューの下位フォルダに移動する時に使用します。
- 9 MENUボタン
iPodのメニューを表示する時に押してください。
- 10 ENTERボタン
iPodのメニューで、再生する楽曲を決定する時に押してください。

リモコンの準備

電池の入れ方

電池の種類：ボタン電池「CR2025」

1. 電池カバーをはずします。
電池カバーを下に押しながら手前に引いてください。
2. 電池ケース内部表示の“+”表示と、電池の“+”面を合わせて装着します。
3. 電池カバーを元に戻します。

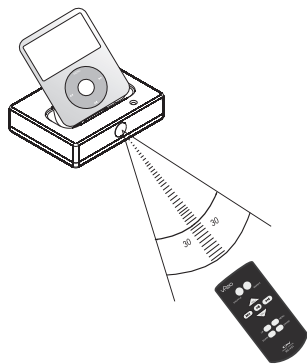


電池の交換について

- ・ 消耗を避けるために、長い期間使用しない時は、リモコン本体から電池を取り外してください。
- ・ 錆びを避けるために、消耗きった電池はすぐに取り除いてください。

リモコンの使い方

リモコンから iPod Dock までの距離は6m以内、受光部に対して60°以内で操作をして下さい。リモコン本体を iPod Dock の赤外線受光部方向に向けます。リモコンから正常に信号を受け取ると、本体のインジケータの表示が切り替わります。



使用時の注意

- ・ リモコンの適切な操作の妨げになるので、本体は直射日光や蛍光灯など強い光を発するものの近くを避けて、設置してください。
- ・ 一つの部屋で同じタイプのリモコンを使用したり、赤外線を用いた類似する機能を持つ商品を使うことは、適切な操作の干渉になります。ご注意ください。
- ・ リモコン本体の上に、本などのいかなる物も置かないでください。ボタンが押され、誤った操作を引き起こしたり電池の消耗につながります。
- ・ リモコン本体と赤外線受光部の間に障害物があると、リモコンは機能しなくなります。

安全上のご注意

6. 本体に火気を置かない
火災や機器の破損、人が障害を負う原因となります。
 7. 周辺に可燃物を置かない/通風を塞がない
本製品は、高温となる真空管が露出しております。ご使用の際は、周辺に燃える物、カーテン等のない、風通しの良い場所に設定してください。また、CDやリモコンなどを本製品の上に置いたり、テーブルクロスなど可燃物を周辺に置かないでください。
 8. 安全保護カバーをはずさない
使用中は真空管の外観が熱くなり触ると危険です。特にお子様が誤って手を触れて火傷を負わないよう、充分ご注意の上ご使用ください。本製品をご使用の際は、付属の安全保護カバーを外してのご使用はお止めください。やむを得ず、安全保護カバーを取り外すときは、真空管の温度が充分に下がってから作業してください。
 9. 真空管の交換
本製品の使用中は、真空管は熱くなり触ると危険です。真空管を交換する時は真空管の温度が充分に下がった後に交換作業を行なってください。また、少しでも不明点がある場合は、作業をせずに、販売店またはCAVジャパンお客様ご相談窓口(TEL 0120-232-765)にご相談ください。
 10. 分解しない
内部に手を触れると危険なうえ、故障の原因となります。内部の点検や調整は、必ず正規販売店、またはCAVジャパンお客様ご相談窓口(TEL 0120-232-765)にご相談ください。
 11. 磁気カード類はスピーカーに近づけない
キャッシュカードやフロッピーディスクなどをスピーカー一部に近づけると、データが消失する可能性があります。
 12. お手入れの際は、化学薬品を使わない
ベンジン、シンナーなどで拭きますと変質したり、塗装が剥げることがありますので使用しないでください。また、殺虫剤など揮発性のものを本体にかけないでください。
- [その他] 保証対象外について
天災等の不可抗力や、お客様の取扱上の不注意による破損などは保証しかねます。また、お客様もしくは第三者がこの製品の使用を誤ったことにより生じた故障、不具合またそれらに基づく損害については、法令上の責任が認められる場合を除き、当社は一切の責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

本商品の特徴

● デジタル音源が盛んな時代だからこそ、こだわり抜いた真空管アンプ GAVがこれまで培ってきたアンプ技術を結集し、今の時代に似つかわしい真空管プリメインアンプが、iPod対応ハイコンボ、VAZIOシリーズとして商品化されました。フル真空管アンプとそのアンプに最適化してチューニングされたスピーカーにより、これまで表現しきれなかったリアルな音像と臨場感を再現します。コンパクトでありながら本格的な仕事をするこのVAZIOシリーズをあなたにお届けします。

● 真空管は音楽をより楽しくする魔法のパーツ
T-3には「(初段)12AX7、(出力段)6V6」を採用。一つ一つの楽器の音の分離がクリアになりつつ、全体的なサウンドは柔らかく耳にやさしい上質なサウンド。

● ユーザーの嗜好にマッチングできる2タイプ展開
ブラウンとホワイトの2タイプで展開するT-3は、木の持つあたたかさや真空管の柔らかさを併せ持った外観仕上げ。コンテンポラリーかつシックな佇まいであなたの部屋をさりげなく演出します。フロントパネルには、リアルウッドを使用し、アルミのプレート材でサウンドの共振を調整した仕上げは美しさとオーディオとしての確かな役割を果たします。

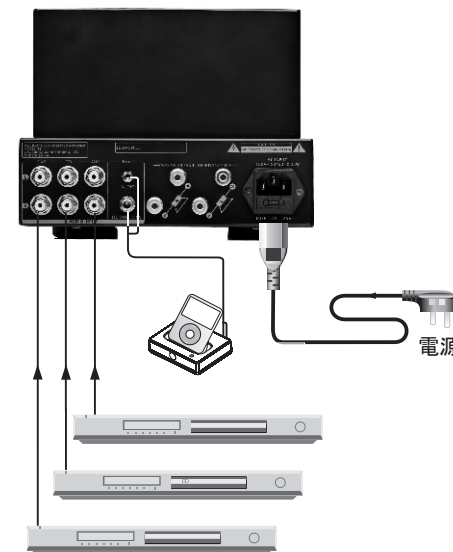
● プッシュプル回路の採用で、高出力かつふくよかなサウンドを両立
初段に12AX7を1本、出力段に6V6を2本用いたプッシュプル回路を採用。高出力でありながら、小さな音でもふくよかで安定したサウンドを出力します。6V6には、放熱効果を高めるためにカーボン・コートを施し、耐久性を高めたパーツと回路設計は、長時間のドライブにも安定した出力を実現します。

● 真空管増幅のオリジナル・ヘッドフォン・アンプ部搭載
フロントパネルにはヘッドフォン端子を搭載。このオリジナル・ヘッドフォン・アンプのために双3極管12AU7を採用し、小音量でも臨場感と定位感の安定したサウンドをあなたの耳に届けます。同じヘッドフォンであっても、iPodから直接ヘッドフォンで聴いていたときには気づかなかった、情報量のゆたかなサウンドを体験するでしょう。

● アンプにマッチングしたオリジナルのスピーカー設計
VAZIOシリーズは、デジタルとアナログを繋ぐハイコンボ。アンプとスピーカーのコンビネーションで、このオーディオシステムの持つ特性を最大に発揮するのです。厳選された素材による突き板仕上げのスピーカーは、熟練した技術者の手で最適なチューニングが成されました。大型ターミナル直出し構造(バナナプラグ対応)を採用し、ふくよかなサウンドを確実にスピーカーに伝達します。パイワイヤリングにも対応したこだわり層のニーズにもお応えします。

● リモコンでiPodを自在に操作
付属のリモコンで、iPodの操作が可能です。楽曲のPlay/Pauseや巻き戻し/早送りだけでなく、音量調整やメニュー階層の移動、リピート機能など多様な操作を行えます。

他の外部オーディオ機器との接続と操作方法



①接続

各外部オーディオ機器の出力端子(RCA)から、本商品のアンプ部リアパネルの各入力端子(RCA)に市販のRCA(ピン)ケーブルを用いて接続します。通常は白いジャックを「L端子」に、赤いジャックを「R端子」に接続します。出力側と入力側のジャックの色と合せてください。

②操作方法

- フロントパネルのVOLUME調整ツマミが、最小値になっていることを確認してから、電源スイッチをONにします。また、真空管のウォームアップに1分ほどかかります。
- フロントパネルのSELECTORツマミを、外部オーディオ機器を接続した入力に切り替えてください。
- VOLUMEツマミを、適当な音量になるまで徐々に上げていきます。

⚠ 真空管はある程度温まらないと正常な電気特性が発揮されません。電源を入れてからウォームアップまでに通常約1分ほどかかります。その間に、音が割れたりノイズが発生するなど、音声出力が不安定な場合がありますが、故障ではありません。

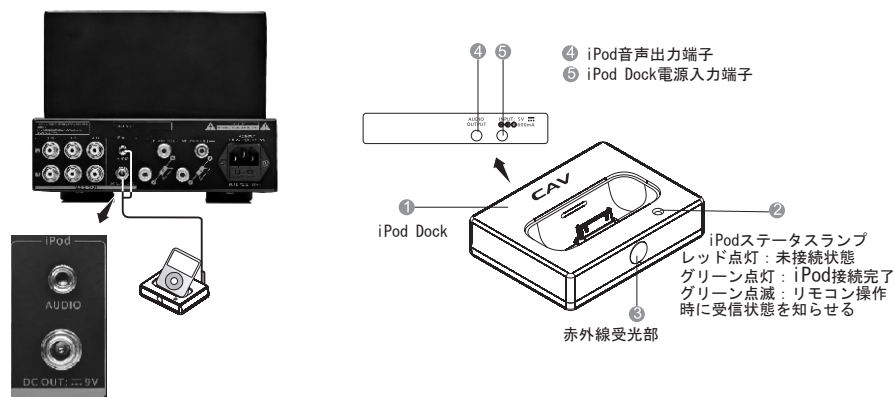
⚠ 真空管には寿命があります。寿命が近づくとサウンドが変化してきます。およそ5年に1度のペースで交換してください(推奨)。使用頻度によっては1~2年で交換時期がきます。サウンドが変わったと感じたら交換して下さい。真空管の交換について、ご不明点などありましたら、販売店またはCAVジャパンお客様ご相談窓口(TEL:0120-232-765)まで、お問い合わせください。

⚠ 安全カバーの取外しには、プラスドライバーが必要になります。保護カバーの左右の接地面にある2箇所のネジを外して保護カバーを上部に持ち上げてください。真空管などの交換作業が済んだら速やかに保護カバーを取付けてください。

iPod Dock/iPodの接続と操作方法

標準付属品

付属品に破損や欠品がある場合は、販売店またはCAVジャパンお客様ご相談窓口 (TEL:0120-232-765) にお問い合わせください。



⚠ 工場出荷時にiPod Dock が傷付かないよう、埃が入らないように蓋をしています。使用時には必ず蓋を取ってください。

本体とiPod Dockの接続

付属品のiPod Dock接続用ケーブルで本体とiPod Dockを接続します。

①電源プラグの接続

5V DC電源ジャックを本体リアパネルの「iPod Dock電源供給端子」、iPod Dockの「iPod Dock電源入力端子」(上記iPod Dock説明図⑤)にそれぞれ接続します。

②オーディオプラグの接続

3.5mmアナログミニジャックを本体リアパネルの「iPod Dock音声入力端子」、iPod Dockの「iPod Dock音声出力端子」(上記iPod Dock説明図④)にそれぞれ接続します。

iPodの接続

- iPodを15°程後ろに傾けてiPodドックに接続します。
本体電源を入れて前面パネルのiPodステータスランプがグリーンに変わることを確認します。接続と同時にiPodの表示が充電モードに変わります。
※ iPodの接続が不完全である場合は、赤いiPodステータスランプが付きます。
しっかり接続確認を行ってください。
- 前面パネルのSELECTORツマミを「iPodに合わせます。
- iPodが正常に表示されたら、付属のリモコンで選曲や音量調整などの操作を行ってください。
- iPodの音量は、スピーカー音量と合わせて調整してお聞きください。前面パネルのVOLUME調整ツマミを回して全体音量を調整してください。リモコンだけで音量を上げると「iPod Dock」に過負荷がかかり、故障の原因となります。
- リモコンで音量を調整する際に、iPodステータスランプが点滅しない時は、音量が最大値或は最小値になっていることを表します。

iPod接続時の注意事項

- iPodを接続し、リモコンで調整できる音量はiPodドックの出力音量であり、iPod本体の音量とは関係ありません。スピーカーの音量(フロントパネルのVOLUMEツマミ)と併せて調整してください。
- リモコンで音量調整する場合、iPodの画面にはボリューム調整画面は表示されません。
- iPodステータスランプが点滅して音量調整中であることを知らせます。
- iPodの音を鳴らしている最中にiPod本体のコントロールキーの操作やiPodの取り外しは行わないでください。iPodやiPodドックの故障の原因となります。



iPodリモコン 1台



取扱説明書 1冊



iPod Dock 1個



電源ケーブル 1本

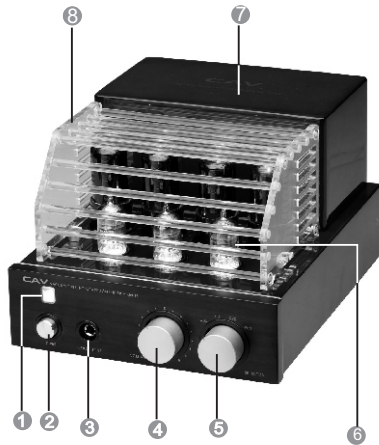


iPod Dock接続用ケーブル 1本



スピーカーケーブル Pair

各部名称の説明（フロントパネル/リアパネル）

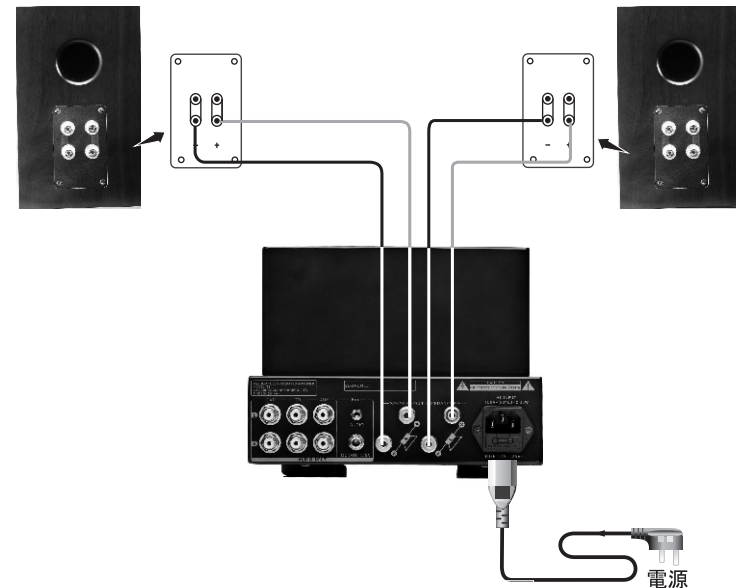


- ① 電源表示ランプ
- ② 主電源スイッチ
- ③ ヘッドホン端子
- ④ VOLUME調整ツマミ
- ⑤ SELECTOR (AUX、CD、 DVD、 iPod入力切替ツマミ)
- ⑥ 真空管
- ⑦ 電源トランス
- ⑧ 真空管安全保護カバー
(※ご使用中は必ず真空管安全保護カバーを取付けてください)。



- ① DVD入力信号接続端子 (L:白 R:赤)
- ② CD入力信号接続端子 (L:白 R:赤)
- ③ AUX入力信号接続端子 (L:白 R:赤)
- ④ iPod Dock電源供給端子
- ⑤ iPod Dock音声入力端子
- ⑥ SPEAKER OUT : R (右側スピーカの接続端子)
- ⑦ SPEAKER OUT : L (左側スピーカの接続端子)
- ⑧ AC INPUT : プラグ差込口
(AC100V (50Hz / 60Hz))

スピーカの接続/電源ケーブルの接続



① 付属のスピーカーケーブルでアンプとスピーカーを接続します。
アンプ部リアパネルのSPEAKER OUT「L」と、左側のスピーカーを接続します。
アンプ部リアパネルのSPEAKER OUT「R」と、右側のスピーカーを接続します。

▽ アンプ側

スピーカーケーブルの黒線のない方を「+端子」に、黒線の方を「-端子」にしっかり接続します。

▽ スピーカー側

アンプ側と同様に、黒線のない方を「+端子」に黒線の方を「-端子」に接続します。
本製品のアンプと付属のスピーカーケーブルでご使用いただく場合は、上段もしくは下段のどちらのターミナル端子でもご接続いただけます（下段への接続を推奨します）。ただし、ジャンパー金具は取り付けたままご使用ください。
お手持ちのアンプなどにご使用の場合は、本製品のSPターミナル端子は、パイワイヤリング対応になっておりますので、さまざまな接続をお楽しみいただけます。

② 電源ケーブルの接続

家庭用コンセント (AC100V (50/60Hz))とアンプ部リアパネルのAC INPUT (電源プラグ差込口) を接続します。

⚠ フロントパネルの電源スイッチがOFFになっていることを必ず確認してください。

⚠ 本製品付属の電源ケーブルは、本商品のみでご使用ください。